

特集

専門看護師と働く ということ

活用と協働の立場から考える

日本看護協会認定の専門看護師制度が設立されて10年。現在では240名の専門看護師が誕生しています。が、それでも全看護師の数から見ればほんの一部。その能力や価値について、耳にしたことはあったとしても、実際にともに働いたことのある人は、まだまだ多くありません。

そこで、2007年に専門看護師ネットワークが生まれたことをきっかけとして、専門看護師とはどのような役割を果たすのか、その取り巻く状況がどのようなものか、そして一般看護師との協働の実際はどのようになっているのかなどを、改めて紹介します。自らの進む先として、あるいはともに働く仲間として、専門看護師についてもっと知ってほしいと思います。

専門看護師の存在は病棟をどう変えるのか？

—わが国におけるCNSを取り巻く状況 小迫富美恵

専門看護師がいる日常—地域看護 三輪恭子

専門看護師がいる日常—母性看護 赤松房子

専門看護師がいる日常—急性・重症患者看護 大江理英

専門看護師の活用で病棟はこう変わった！

—管理職の視点から 石川泰子

【同僚対談】一緒に働く人としての「専門看護師」 岡本充子・吉永富美

特別記事

臨床知の現在 佐藤紀子

新連載

医療器械とともに学ぶ カラダのしくみ 堀川由夫

かわかるチカラ 糖尿病療養指導の現場学 東めぐみ

医療の零度 次世代医療への省察 京極真

編・集・後・記

●特別記事「生きるための緩和医療」というタイトルにドキッとした人もいらっしゃるのでは？ いわゆる「終末期」であっても、死ぬために生きているわけではない。死が訪れるときまで、ただ、生きる。当たり前のことなのですが、医療が高度化する今、難しい課題です。

特集は「自己治癒力」がキーワードでした。人間が本来持つ回復力、いわゆる「自然治癒力」から一歩踏み込んで、そうした治癒力の発露に人の主体性が深く関与しているという考え方が提示されていました。実際のところ、人の主体性はその人の治癒力の発露にどのように関係しているかは（わかっていることがあるとしても）未知数の部分が大きいでしょう。しかし、日々の実感としてこれを否定する人は少ないのではないのでしょうか。意識しているかどうかは別として、生きようとする意志が人に眠る治癒力の発露にかかわっているとすれば、それを支えることは、これからの医療では大切な課題となるのでは？ そんなことを考えました。 【鳥居】

●病院勤務医を中心とした医師会「全国医師連盟（仮）」発足のニュースは、労働者としての医療者という見方が改めて注目されるよいきっかけになるかも知れないと、期待させるものでした。高齢化、格差拡大が進む日本において、医療者の担う役割は大きくなるばかりですが、その役割に見合うだけの労働条件が得られているかというと、決してそうではないと思います。「医は算術」ではありませんが、算術なくしては暮らしていくことはできません。それをないがしろにしてきたつづきが、今の貧困な医療現場を生んでいるとも言えるのではないのでしょうか。その是正のために、今回の組織に参加する医師たちは立ち上がりました。さて、看護師はどうでしょう？ 【大野】

看護学雑誌 第72巻第3号 2008年3月1日発行(毎月1回発行)

発行/株式会社医学書院 代表者 金原優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo ©2008, Printed in Japan

1部定価 1,260円(本体1,200円+税5%) 年ごめ予約購読料 13,200円(税込、送料弊社負担)

・定期購読のお申し込み先/(株)医学書院販売部 TEL 03-3817-5659

・第69巻以前のバックナンバーのご注文先/(株)東亜ブック TEL 03-3985-4701

【看護学雑誌】編集室(担当/鳥居・大野) TEL 03-3817-5772

E-mail kangaku@igaku-shoin.co.jp 医学書院ホームページ <http://www.igaku-shoin.co.jp>

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

【JCLS】<(株)日本著作出版権管理システム委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に(株)日本著作出版権管理システム(TEL 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の許諾を得てください。本誌掲載論文・記事のタイトル頁最下段に記された「0386-9830/08/¥250/論文/JCLS」は、1論文1回複写につき250円要することを明示したものです。これは表示のない論文等にも適用されます。JCLSへのご連絡の際には、筆頭著者名・論文名と併せて本表示をご提示くださるようお願いいたします。